

デジタルカメラ・シーン別撮影法

 風景	絞りを絞って露出合わせている	ピントを遠くに合わせ、画面全体がシャープに写るようにします。くっきりとクリアに写せます。
 ポートレート	露出は少し明るめ、WBを曇天にすることで赤味を出す。	人物を引き立てて肌がきれいに写るよう、露出と色調をコントロール。美しいポートレートが撮れます。
 スポーツ	シャッタースピードを上げて露出	スポーツなど、動きの速いものを撮影するのに適したモードです。
 夜景	シャッタースピードを遅くする。絞りも開ける。三脚が必要な場合も。	通常より遅いシャッタースピードで、夜景をしっかりと写しだします。
 夜景ポートレート	ストロボ発光。届く範囲3～5m以内に人物を配し、撮影。背景はAEロック。	人物はフラッシュでくっきりと、背景は夕景や夜景も鮮やかに写しこんで、雰囲気のある写真が撮れます。
 花火	夜景モードに近く、ある程度の絞りも必要。もちろん三脚も。	夜空に打ち上げられた花火を撮りたいときに
 パーティー	手ブレ補正機能を活かし、ISO感度を上げる。	結婚式や薄暗い室内のパーティーなどに最適です。
 美肌	WB自動機能。ソフトフォーカス	顔などの肌色部分を検出して、肌を特になめらかに表現します。
 赤ちゃん	WB曇天。明るめの露出。	赤ちゃんの肌の色を健康的に出すように露出と色調を整えます。
 自分撮り	明るめ露出。手ブレ補正機能。マクロモード。	30～70cmの範囲でピントを調節し、肌色が美しく写るよう設定されます。手ブレ補正が作動します。
 料理	自動WB調整	周囲の光に影響されず、料理を自然な色調で写します。
 雪	露出をプラス補正。WB調整。	雪が真っ白に写るよう、色調をコントロールします。
 マクロ	被写体に近づいてピントが合うようにする。手ブレ補正。	撮りたいものに近づいて大きくクローズアップできます。花などの撮影に便利。

撮影モードに切り替えると、予め設定されている機能を活かすことができます。特にコンパクトカメラやハイエンド・コンパクトには適したモードです。自分のカメラには付いていない機能であっても、中の機能説明で理解ができます。資料は[Panasonic LUMIX]を参考にしました。もし、モード機能を使ってもうましくない場合は、露出やWBなどを補正してみてください。積極的にモード機能を活用し、よりきれいな映像を作りましょう。